

第9回公園検討会議 議事記録

1 と き 平成31年4月25日(木) 19:00～20:55

2 ところ 西成区役所 4-5・7会議室

3 出席者

(有識者)

福原 大阪市立大学大学院経済学研究科教授
寺川 近畿大学建築学部建築学科准教授
ありむら 釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長
永橋 立命館大学産業社会学部現代社会学科教授
白波瀬 桃山学院大学社会学部社会学科准教授

(行政機関)

大阪市建設局公園緑化部調整課 竹野調整課長、黒瀬調整課長代理 他2名
建設局総務部路政課 乗上適正化担当課長、田淵管理適正化担当課長代理 他1名
建設局西部方面管理事務所八幡屋公園事務所 西所長、他2名
西成区役所保健福祉課 原事業調整担当課長、他3名
福祉局生活福祉部自立支援課 北口自立支援課長 他1名
大阪府商工労働部雇用推進室労政課 芝参事、他1名

(地域メンバー)

荘保 わが町にしなり子育てネット代表
吉岡 釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表
本田 釜ヶ崎反失業連絡会共同代表
山中 釜ヶ崎日雇労働組合委員長
杉村 こどもの里

4 議 題

- (1) 第8回公園検討会議の議事要旨及び第7回公園検討会議の議事記録について
- (2) 委員の退任について
- (3) 新・萩の森予定地の暫定利用について (WG内容の報告)
- (4) その他
 - ・三角公園ととも今宮シェルター跡地の利用について ほか

5 議事要旨

(1) 開会

- それでは、ただいまから第9回公園検討会を始めさせていただきます。委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しい中ご出席を賜り誠にありがとうございます。

公園検討会議におきましては、正確な議事記録作成のためこれまでと同様に録音をさせていただきますので、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

では、本日の資料の確認をさせていただきます。

まず、次第、次に【資料1】公園検討会議委員名簿、【資料2】公園検討会議座席表となっております。【資料3】が第8回公園検討会議の議事要旨となっております。【資料4】第7回公園検討会議議事記録となっております。そして【資料5】萩の森予定地の利用状況について説明させていただきますと思います。

資料がもしなければ、お近くのものに声掛けしていただければと思います。

- 議事次第に沿いまして会議を進めさせていただきますと思います。ここからの議事進行は座長にお願いいたします。
- 議題に沿って進行したいと思います。その前に、後で報告いたしますが、労働センターの問題もなく、ひとまず、一つの山を越えたかと思えますけれども、これに関連して公園検討会議においても議論すべき案件が出てくるかもしれないので、それについては議論していくということでもよろしくお願いいたします。

では、議題の2ですね、「第8回公園検討会議の議事要旨について」事務局側から報告をお願いいたします。

- 会議の記録等につきましては、議事要旨を作成しまして大阪市ホームページの「あいりん地域まちづくり会議 公園検討会議について」の中で公開してまいりたいと思います。

内容につきましては【資料3】にございます議事要旨となっております。【資料4】でございますが、第7回公園検討会議議事記録で、前回の会議でご確認いただけなかったものにつきまして、作成いたしましたので確認いただきたいと思います。なお、前回の第8回の公園検討会議の議事記録につきましては、まだ作成できていないので、次回の公園検討会議でご説明させていただきます。

本日は時間の関係もございますので、この場で確認は難しいかと思っておりますので後ほどご確認いただきまして、5月16日までに変更点がございましたら事務局までご連絡いただければと思っております。修正がなければこの内容で公開させていただきます。

- 公園検討会議の議事要旨の取扱いについて、意義無ければ次に移りたいと思います。よろしくお願いいたします。

特に、議事要旨【資料3】の方ですが、前回会議の中で3点議論したわけですが、その点を確認していきたいと思っております。

実際には、5の(2)と(3)になりますが、5の(2)で、「新・萩の森予定地の暫定利用について第1・2回のワーキンググループの報告及び意見交換を行い、トイレやテントの施設の設定などを検討するとともに、4月1日に向け3月28日に第3回ワーキングを開催し、更に具

体的な話を進めて行く事を確認した。」ということで、3月でしたのでセンターの閉鎖に合わせて居場所について話をしました。もう一つは3号公園、「もと今宮シェルター跡地の利用について三角公園で炊き出しを行っている団体の関係者や地元町会との関係者と懇談会を行っており、今後もこれを続けていく旨、報告があった。」ということで、今日も後で報告があります。

それでは、次第3、議題の方へ入っていきます。まず、委員の退任について事務局から報告をお願いいたします。

- 【資料1】をご覧ください。公園検討会議委員名簿のナンバー24番になりますが、わかくさ保育園の若林義輝さんにおかれましては、この3月末でわかくさ園を退職されたという事で、つきましては後任の方をわかくさ園の蕨川園長にご相談させていただいたんですが、適任の方がおられないという事でした。わかくさ園として、蕨川園長につきましては引き続き委員としてお越し頂けるという事ですので、事務局といたしましては、退任に伴う後任の方は選出しない方向で考えたいと思います。わかくさ保育園の若林さんにつきましては、名簿から削除させていただきたいと思います。

- 承認する以外仕方がないかと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

- 次の議題は、「新・萩の森予定地の暫定利用について」という事ですが、これに先立って昨日、センターのシャッターの閉鎖について大阪府さんの方から簡単に、事実確認も含めお願いいたします。

- 説明させていただきます。

皆さんご存知のとおり、あいりん労働センターにつきましては4月1日から不法占拠の状況が続いておりました。昨日、旧労働センターのシャッターを閉鎖しまして、また本日、センター内にありました荷物の方を外に出させていただきました。この経緯なんです、元々の旧労働センターが、耐震性がないという事で3月31日をもって閉鎖するという事で、これまでまちづくり会議労働施設検討部会におきまして、地元町内会の皆さま、労働団体等のご意見を聞きながら、仮移転を行って、現地に建て替えるという予定になっております。このような状況の中で大阪市さんの方では、シェルターの時間延長、萩の森の広場開設など、また、国の方も職安の待合などに近いと、いろいろ閉鎖に向けて、関係機関、地域の皆さまのご協力をいただいておりますが、残念ながら3月31日に閉鎖できませんでした。そのために、耐震性がないという事で、そこに滞在されている方の安全を守る意味でも、速やかな閉鎖をという事を考えておりました、不法占拠者によってゴミも発生するなど、地域の皆さま方からも公衆衛生の問題も踏まえ、また地域の外の方も反対派の方がおりますので、その辺り周辺住民の方の不安な声も寄せられておりました。それによりまして早急な対応が必要だという事で、不法占拠の長期化は望ましくない、大阪労働局さんの意向も踏まえまして閉鎖に至ったと、知事の方もそういう判断をしたという事でございます。建物の適正な管理を行うために円滑、かつ安全にシャッターを閉鎖するという事で、行政として対処する退去誘導を昨日行って、中におる方に出していただいた次第でございます。地域の皆さまにはご心配、ご迷惑をおかけしますが、どうかその点のご理解をお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

- はい、ありがとうございます。何か質問ありますか。よろしいでしょうか。

→ 荷物はいつまで。

- 本日荷物を出しましたが、すぐに取りに来ていただけない荷物も想定されまして、それにつきましては、一定期限を切ったうえで撤去という事でないと難しいというご指導もありまして、本日から1か月間の中で、撤去されない部分については、その後撤去させていただくという事で、本日現地で周知してきておりまして、またシャッターにも文書でお知らせさせていただいているという状況になっております。
- 聞いておきたいんですが、ちょうど年度跨いだり、いろんな事があったんで分かりにくかったんですが、3月31日時点のセンターのシャッターを閉める責任については大阪府にあったのですか。
- 建物の管理を国から大阪府が受けて、それを西成労働福祉センターに委託しているという形でした。3月31日までは、4月1日以降は、所有者であります国と大阪労働局と大阪府が、管理権を持っているという状態です。建物全体を国と府が所有しているというふうに考えていただきたいと思います。
- 撤去できない残った荷物ですが、管理はちゃんとできているんですか。
- 今のところ、どれだけお持ち帰りいただけるかというのが、今日夕方に出したところなので、状況を見ながら把握していきたいと思っております。
- 残された荷物は、センターのシャッターの内側に保管するという事ですか。
- 敷地の中ですが、シャッターの外側に出させていただいております。
- 軒下は分かるけれども、他の荷物がそこへ追加されたりとかあるいはそこから本人じゃなくて必要な人が持って行ったりとか、そんな事もあり得ますよねえ。
- その辺りは、我々としましては、本日物を出す事につきましては、昨日お知らせをいたしまして、また、取りに来ていただいている方々に自分の物を確認して持って帰っていただくという事をさせていただいております。
- 昨日の閉鎖という事実を知っているのであれば、絶対必要という自分の荷物は取りに来られるという判断だと思うんですけども、今日ここに来る前に見てきましたが、中でしばらく利用されていた人の荷物というよりは、自転車が非常にたくさん前に出されてて、あの自転車は前からセンターの中に止めてあった自転車ですよ。あれが、ちょっといい自転車あるから貰って行こうかなみたいになるような気がしますが、それでもね。
- 声掛けはしてて、それを取りに来た人たちに渡すらしいですが、放置している人たちがいますから、それを外に出されてるという事を知らないかもしれないので。
- 荷物の大半は、中で占拠されていた人達の荷物、テントとかソファーとか本棚まで持ち込んでいたみたいですが、あぁいったものが置かれています、あれがずっと残ると思うんですよ。むしろ残ることによって日雇い求人の業者さんの車があそこに着けられないという事で、いろいろ問題が起きる可能性があるんじゃないかと私は個人的に心配していますし、有識者の皆さんも同じような考えかと思えます。
- 明日の朝が、さっそくどうなるかっていう波乱要因がありますよね。今言った大きな本棚とか、テントとかを出しているところっていうのは比較的北側の方ですけども、シンメイという業者が大手ですよ、あの辺りが求人している場所で最近そこでやってるらしいです。印紙を持っていない関係でセンターの所定の所で求人できなくなったので、どうもあの辺りでやっている

ようなんですよ。そうすると、大手なので沢山労働者が出入りしますので、さあどうなるんだろうかというところですよ。

→ シャッター閉まっていますけれども、今後センターの建物を国と府で管理すると先ほどおっしゃっていましたが、センターの建物に関しては？

○ 今後の建物管理は、シャッターが閉まってきれいな状態になりましたので、西成労働福祉センターに併設されている建物ですので、管理委託の方は併設された状況で委託していく方向で検討はしています。

→ そこを聞いたかったんですが、管理・監督責任の所在を知りたかったのと、連絡窓口として、どこの部署に行けばいいのか、センターの建物に何かトラブルがあった場合にどこに行けばいいのかという事を知っておきたい。

○ 今のところは、大阪労働局と大阪府に言っていただく状況ですが、今後はその方向で検討しているということです。

○ はい、ありがとうございました。よろしいですかね。

センターについては、誰かが怪我をすとかそういう事もなく閉まったという事で、ひとまず大きな山を越したという事で理解しております。センター並びにその辺を利用されている人達が公園とか新萩の森等々に流れていく、そういった事が、良いとか悪いとかという議論はあるかとは思いますが、まず事実関係を確認いただいて、それから想定していただいて、こういった新萩の森の今後の利用の仕方について議論を進めて行きたいと思います。

四角公園・三角公園への影響等、何かあれば。

○ 今日の段階では、特段何か大きな支援団体の小屋ができるとか、たくさんの方が荷物を運び込むという事は18時現在ではありませんでした。ただ、四角公園で一軒、昨日の晩から簡易テントを建てられた方がいらっしゃって、声をかけて、一応午後には除けるという意味をお持ちだったので、区役所からも来ていただいて保護に向けた話し合いをしているところです。

○ その人はセンターの中で住んでたんですか

○ センターの中で住んではったと聞き出してはおります。

○ その時は声掛けはされてるはずですよ。その時はまだ生活保護までは本人は決断ができなかった人なんじゃないかな。

○ そこまでは把握できていないですが、生活保護とかの話を知りたいという事だったので、すぐに区役所の方も対応してくれて、今は少し話ができる状態かと思えます。特段今のところはそういう方が増えているという状況には至っていない。逆に、支援の人が北側の所で建てられているので、まだこちらには影響がない。

○ 今後も、公園の方に人が流れてくる可能性があるんで、そういった方々の意向もくみながら生活保護に紹介していただいて、屋根のあるところで寝ていただくという事ですね。

では、次第の方に戻りたいと思います。

今日の議題「新・萩の森予定地の暫定利用について」ご説明よろしいでしょうか。

○ 西成区役所事業調整担当の方から萩の森予定地の運用状況について、第3回、第4回3月28日、4月11日に開催しました萩の森ワーキングのまとめなどの状況を報告させていただきます。

では、【資料5】に沿って説明させていただきます。現状レイアウトという事で、当初テ

ント3張り仮設トイレ2つという事で、その後テントにつきましては喫煙される方が多いという事で当初1カ所から2カ所に増設させていただきました。また、給水タンク式ですが手洗い場も設置させていただきました。利用状況については、4月6日から4月23日の間で、時間帯毎、また、曜日において平均的な数値を書かせていただきました。ずっと見てるのではなく、目視という事でその平均を集計させていただきました。また、晴れの日、曇りの日、雨の日という事でも一定、時間帯の平均という事でも出させてさせていただきました。下の方に書かさせていただいておるんですけども、旧西成労働福祉センター談話室を利用していた囲碁・将棋の方がほぼ、お天気が良ければ利用されているという状況です。

また、喫煙目的の方が多く、喫煙のテントに集まる傾向がございましたので2張りにさせていただきました。特段、騒いだりという事はなくルールを守っていただいているという状況です。

次のページでございます。第3回、第4回萩の森ワーキングまとめ(案)でございます。

まず、上の囲み(飲酒について)ということで意見をいただきまして、現状ルールでは、場内での飲酒については原則禁止。ただし、イベント利用等で主催者が責任を持って対応することができると思われる場合は許可することも検討するという事でさせていただいております。

次に(喫煙について)です。ルールとしましては、分煙。喫煙コーナーを設置という事で運用しているところでございます。

3つ目、(炊き出しやイベントでの使用について)という事で、様々なご意見をいただきました。ルールについて、炊き出しにつきましては賛否がはっきりと分かれておりますので、明確な結論には至っていないため現時点においては、実施は認めていない状況でございます。次にイベント等の利用につきましては、主催者が責任を持って対応できるか、地域住民の理解を得られることができる内容かなどにつきまして、個別に判断するという事でさせていただいております。また、実施の結果、ゴミや騒音などの問題が生じるようでありましたら、再度議論しましょうという事にしております。次(広場内での横臥、段ボールなどの持ち込みについて)です。

こちらのルールとしましては、大量の荷物の持ち込みや段ボールでの場所を取るような行為は禁止させていただいておりますが、ベンチで横になるといような事は妨げませんよという事にさせていただいております。

運用ルールの周知という事で、別紙の方を付けておりますので、ご参照いただければと思っております。

次に、(ハード面の検討)ということでトイレにつきましては現状、汲み取り式の仮設トイレ2基となっております。様々なご意見をいただいております。整備の方向性としてしましては、今後、既設トイレの活用・利用促進を図るとともに、仮設トイレの利用状況等の検証を行ったうえで引き続きトイレ整備についての検討を進めたいと考えております。

次に(給水設備について)です。現状、タンク式1カ所でございます。整備の方向性としてしましては、上水道の早期設置に向けて調整を進めることで、6月から7月上旬を目途に整備をしたいと考えております。

次に、(居場所、管理棟)です。こちらは現状、テント3張りです。これにおきましては既に意見をいただいておりますが、旧センターが閉鎖されたことによりまして、若干利用数も増えております。整備の方向性は、コンテナやデッキの設置、日除け・雨対策となる整備の充実に向け

た整備案の検討を進めると書いておりますけれども、事務局としましては早急な対応がいると思いますので、明日にでもベンチを増設させていただきまして、可能であればテントとテントの間に日除け幕を設置して皆さんが過ごせる場所を拡大したいと考えております。その上で、今、説明させていただきました整備の方向性につきましても早く実現するようにワーキングを開催して皆さんと共に検討を進めていきたいと思っております。なお、ワーキングにつきましても5月連休明け早々、5月中旬頃を目途に開催したいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。

次に〈広場の整備〉でございます。整備につきましてもの現状が空き地となっておりますけれども、意見をいただいておりますので整備のことにつきましては、先ほど申し上げましたワーキングで皆さんのご意見を踏まえて進めてまいりたいと考えております。

最後になりますが、〈出入口について〉現状は北側に1カ所なんですけれども、ご意見もありますので、例えば整備の方向性として、西側への出入口の設置に向けて検討を行う。年度内の設置を目指すという事で考えておるところでございます。説明は以上でございます。ご意見ございましたらお願いいたします。

- では、ご理解いただいたという事でよろしいですかね。
- 今まさにシャッターが閉まったという事で労働部会でもお話があったわけですが、新萩の森とやはりセットで考えていくべきテーマという事で新萩の森の環境をどうしていくのかという事が非常にまた緊急性を帯びたという事だと思っております。そういう意味でも今すぐできることは何かという事について具体化していかないといけないところでもありますので、今、話がありましたが、まずは日除け、もう一点、気になるのはテントの数の話も出ましたので、これも随時進めて行くという事にしたいと思うんです。それはワーキングの中で最終決定したいと思っておりますけれども、テントの数も増やして、ある意味、緊急性の高いものとして進めて行く。あとは上下水の問題も出てまいりましたので、これはやっぱり業者の問題、制度の問題がありましたので、今のところ頑張ったとしても2カ月くらいかかるかもわかりませんので、最終的にどの段階でできるかというのは、今度のワーキングで報告できればと思いますが、少なくともそれも同時並行で動いてると思っていただければいいのかなと思います。

今月の21日に箕面の北芝というところに委員の皆さんと訪問いたしましたので、その報告を少しさせていただきます。

このエリアは、箕面で言いますと新御堂のどん突きの所にありまして、ちょうど地下鉄の延伸工事が行われているところで、右側にイオンのショッピングモールがありますが、箕面の新都心になります。北芝地区はその西側にありまして、だいたい半径200メートル位の所にあります。エリアとしては500人位の地区です。今回伺ったのは右上のティー時型の土地の所が公園の横にありまして、これは元々箕面市の土地を公社が買い受けた後、地域の方が買い取って暫定的な居場所、コンテナを含めた暫定的な居場所事業をされているという事です。面積はだいたい700から800平米、ちょうど新萩の森と同じくらいの大きさではないかと思っております。不思議なことです。形状も良く似ていまして、こっちは大きな公園がありますから、これから新しくできるだろう、新設の方とのつながりも含めてイメージしていただければ良いのではないかと思います。そもそも、ここには何もなかった、瓦礫の敷地だったわけですが、そこに地域の居場所を作ろうという事で、工事用の足場を使ったフレーム、映画を映すためのゲートを作ったり、須磨埠

頭に行ってコンテナを買ってきまして、この場所に設置すると、今からやろうとしている事はこういうイメージだったんじゃないかなという事で見えていただいておりますが、このコンテナが、海上コンテナでして、だいたい15万円です。移送費が5万円位。もう一つ買ったのは冷凍コンテナで、20万円ぐらいしましたけれども、ここの場合は基礎工事とか建築設置したので、確認申請を取るために基礎工事もしたので、それで費用がかかった。コンテナそのものはそんなに高いお金ではないと思います。中身もそれぞれお金がないので、地域の子ども達も参加しながら中を作っていく。そういう形で動いていきました。とにかく、居場所といいますか地域の中で集まったりつながれる場所をつくらうというのがこのまちのコンセプトとしてありまして、期間限定で暫定的に使いながら、いろいろ変えていきたいと思いますという事で、コンテナ2つ北コンテナ、南コンテナというのがありまして、その周りに舞台というデッキを作って、その前をイベント広場として、様々なイベントをする。少し出っ張っているところは、本設です。その後いろんな議論をした結果、地域のまちづくり拠点を作らうという事で、コミュニティーレストランとまちづくり拠点を本設という形で南側に作っているという様子です。

これは、コンテナです。みんなでどういうコンテナにしようかという事でチャレンジショップを3ブース作らうということで作っている様子です。

これは、広場です。お金がなかったので芝の種を京都から買ってきて、種をまいて芝生を成長させてる。デッキもみなさんで作ってる。足場板で作ってるウッドデッキですね。そういう所で、いろんなコンテナプレゼンテーションして、まちのおばちゃん達がそこで喫茶店をやりたいというような事とか、子どもの駄菓子屋をしたいというような実験的な試みをこのコンテナでいろいろ進めてきたというような経緯があります。その中でも、本設が欲しいよねという事でワークショップをして、先ほども言いました、コミュニティーレストランとまちづくり事務所を作って運営されているという事になります。その中で、いろいろやりたいという人が出てくるので、石窯を作りたいというおっちゃんが出てきて、そのおっちゃんが作った石窯を使って地域の女性がレストランで石窯を使った料理を作って、それを出すというような事もされています。空いている時間をもったいないという事で、空いたレストランの時間を子育ての親が運営する時間になったり、子ども達が運営する時間になったり、レストラン自体がいろんな人が使えるような場として動いています。例えば、まちのお母ちゃん達だけが行く専用の居酒屋になったり、いろんなパターンで居場所が使われている。とにかく、いろんな人が使いやすい環境をどう作るかという事が重要なテーマでしたので、地元でやりたい事をつないで行く事で結構広がってきたというのがこのまちの歴史です。

朝市もやりたいという事で、あちこちからこういう物を仕入れてきて、この卵を使った朝ご飯をみんなで食べようという事で、今まで家の中に閉じこもり気味の方も出てきてここで朝ご飯を食べるというような事も進めておられる。今はいろんな方がこの広場を使って売ったり朝市をしたりという事でつながっておられるというのがこのまちの特徴です。

居場所をどう作るのかというのが大きなテーマであって、そういう意味で言うところの拠点を自分たちで運営していくというのが非常に重要な動きだという事を考えているようです。

最近になって、人権センターは、元々は行政が管理運営をしていましたが、地域のNPOを作って、そのNPOが指定管理を受けることで、1億近くの事業が入ってくる。そこで若者たちが、

50名、60名程かな、この地域で雇用されているというところまで来ました。そういう若者を雇用するということで安定資金を得たんですが、彼らが考えたのは、行政の指定管理というのは、補助金とかいつなくなるか分からないので、それでは長続きしないんじゃないかということで、合同会社を作って、NPOと合同会社という2つの部門を作って、福祉事業に取り掛かったり、建築工務部というのを作って地域の物件を再生、リノベーションしたり、団地に住んでいる方々の団地のリフォームをしたり、不動産を扱ったり、いろんな地域貢献型の営利事業というものを進めておられて、たまたまこのまちには古い大きな家があって、競売にかかるときにこの会社が購入して、コミュニティーハウスという事で緊急時のシェルターのような役割を果たしたり、地域のサロンの役割を果たしたり、様々な使い方ができる。本来、不動産屋であれば、6軒位の家になるんですが、古い家をそのまま使うことでうまい事いっています。

あとは、倉庫なんですけど、倉庫をリノベーションして地域の会社の事務所にしたり、こういう事も進めて行く中で、手を動かすのがとても上手なまちなので、先ほどのコンテナも今はコンビニになっています。地域の人たちがそこで経験したレストランとかチャレンジを具体化したいという事で一棟のコンテナはコンビニになっています。

そこで、お惣菜を売ったり、地域のおばちゃん達にそれを届けたりという事をやっています。

もう一つは、地域通貨を発行されている場所で、日本でも地域通貨はいくつかあるんですけども、ここはかなり残っている地域通貨です。マープという地域通貨で、特に子ども達はまちの将来を担っていく役割を持っていて、いろんな問題を抱えているんだけど、まちとどう関わってもらおうかという意味で、子どものための地域通貨というのを出されています。

未来の自分銀行という名前の銀行でマープを貯めていくんですが、それを中で夢コンテストというのをやってまして、子ども達が提案したことを大人が本気になって実現させるというプロジェクトなんです。例えばこの子は、逃走中というテレビでやってる、鬼ごっこしたいという事で提案するんです。

それでですね、子どもが声をかけて、大学生とか声かけていくんです。ほな、よっしゃ手伝ったろっていう事ですごい広がりができて、この子どもが中心になってイベントで大人も子どももいろんな人が、参加することができました。

横にスーパーもあるんですが、その会社の人もかも含めて一体のイベントとして成功しました。

あとは、気球に乗って飛びたいというような子がいたら、いろんな条件があるんですが、それでマープを集めて友達や大人を集めて来たら気球も実現しようという事でそういうコンテストをやっています。

ここは子どものハローワークがありまして、小さい子どもが働いてマープをもらってという事なんですけど、本来このあたりはイオンモールがあって、広告宣伝費に5万円位をかけて、子ども達が入ることによって大人も寄ってくるお母さん達も寄ってくるという事で非常に大きな広告効果もあるし、子ども達がまちの仕事をするという事で、地域にとっても重要な活動になっています。これがその時の様子です。

→ イオンモールでもマープは使えるんですか。

○ 使えます。箕面市内で50カ所位使えますよ。今は100ですか。

僕もマーブを貯めるんですけど、映画館行ってドキドキしながら払う。

- 我々がやった時には、商店街でも一切使えなかったです。
- ここにみなさん来ていただきまして、天気も良かったんですけど、真ん中の広場に大きなテントを何個も張って使えるようになってます。デッキがずっとありまして、こういう形でみなさん地域の方にも意見を伺ったという事です。こういう店もデッキがあれば、雨が避けれるような、日が避けれるようなデッキがあればこういうお店もイベントとして出されています。これは、ピザですね。こういうようなものを売る場所があったり。
- タケノコが入ったピザで、初めて食べた。美味しかったよ。
- これが、コンテナの中から見た外側です。これもコンテナですが、冷凍コンテナはバーになっています。駄菓子屋が横にあります。おっちゃん子どもがいつの間にか一緒にいるという不思議な空間です。これはコンテナコンビニで、お惣菜ですね。食育の問題、お年寄りとか孤食の問題ですね。一人でご飯を食べる問題とかすごく大事なテーマです。

今、新しくできたのが、別棟の簡易な家で厨房を作って、地域のあちこちにお食事サービスをしている。大学でオードブル出したりして、結構儲かっているみたいです。ケータリングをしている。もともと配食サービスをしていたんですが、和民とか出てきて対抗できないということでやり方を変えたようです。社会にいいお買い物という事でピーマートというのをレストランだった1階にこういうお店を出されてまして、全国でなかなか目に留まらない、でも地域の思いがこもった商品を地域商品というような形で売る場所を作っておられる。

これは公園です。団地の前に広場みたいな公園があったんですが、ほとんど使われていない草ぼうぼうの公園だったんでもったいないという事で、その公園を、手前が水飲み場ですが、地域のおっちゃんが四阿を作ってくれて、その水を使って公園を農園にしているんですね。みんなで運営管理して、棟々にチームがあって、若者の農園があったり、お年寄りの農園があったり、さっきのレストランの人の農園があったりという事で、それを採ってきてお店で出すという事もされている。

その裏に集会所があるんですけど、レンガを積んだ防災ベンチです。いざという時にはここで火が焚けるという事で、日常的に実践している。試してみないと分からないのでという事でこういう物を作ったり、これはドラム缶ですが、お風呂に入ってみようという事で、置いておられる。

大きな木があって、上にツリーハウスみたいなものを作ろうというプロジェクトがあったり、これはバスケットゴールです。横に地域のおっちゃんが持っていた倉庫を、若者たちが何かしたいという事で、貸してあげようとなった。その倉庫に集まってきた若者が今度、会社を作るんですね。若い子を集めて運営している。いろんな物を集めて運営しているという事です。

そういう拠点といいますか、居場所がいっぱいあるんです。ここにはね。一カ所では煮詰まってしまうので、まちの中にそれぞれが行ける居場所が用意されています。

そういう意味でも、今回の新萩の森というのは、将来的なイメージを含めて、いろんな人が使っていく。暫定的に、段階的に触れあっていける場になったらいいなあと思います。

どうでしたか。

→ おもしろかったですねえ。里の子ども、マーブ使ったイベントとかいっぱいできると思うしねえ。コンビニでマーブ使わしてくれるような仕組み作ったらいい。子ども達に働くことの意欲と

かそういう社会の仕組みを楽しく体験できるのは良いことです。

- 昔、やってはったおっちゃん等が良く手伝ってくれるんですよ。物を作る時に。
- 百聞は一見に如かずだと思うので、ワーキンググループの人達、特に第1住宅の人達はぜひ、コンテナ二つでこんな事が出来るのかっていうのが、理屈じゃなく分かると思うので、ぜひ、次のワーキンググループで提案していただきたいというのが一つと、圧倒的な前提の違いがあって、ここはきっちりと定住している人達ですよ。反対に釜は本当に正反対のまちですから、その前提は圧倒的に違うので、こちらから見たらため息が出るような感じですよ。そこにいる人達だって、本当にそこに腰を据えてやれるわけですからね。でも、じゃあ真似できひんかというとは違って、それはそれでありりんらしい中間居住があったりとか、らしいのが、またそれはそれで別なやり方ができるし、その見本みたいなものというか、一つのやっている事というのは、学べるし真似もできるし、また違う形でできるんじゃないかなと思うので、結論は、あそこで若い人に勝手にやらせたら、どんどんやって行くんじゃないかっていうのは北芝も新萩の森も一緒じゃないかなあと私は思いました。我々じいさん達の出る番じゃないなとさすがに思いました。
- とは言え、今の萩の森で言うと緊急性を帯びているところもあるので、そういう意味で言うことができる所からやって行くと、お金に関しても今、区さんが持っている予算をどうやればうまく使って行けるかという事もギリギリと調整しているところなので、まずは今あるテントの上を日陰にする、次はそのテントの数を増やす、その次は、上下水を作る、その次はコンテナをどう置くかという事でスタートすると、でないこれから夏に向かっていきますのでそういう場所をどう確保するかという大事な時期に来ていますから、ぜひここはやれることを早く積み重ねていくしかないのかなあと思っています。次からどうして行くかは、ワーキングをゴールデンウィーク明けに予定しています。今のお話で行くと、どうやって屋根つけるかとか。
- 屋根の方は簡単にできますんで、もっとこうすべきやという事があれば、対応していきたいと思っております。
- 何かすぐやる事って、意見ありますか。
- 日除けのようなもの、夕方とかねえ。
- これから梅雨になって雨もねえ。下を何とかしなあかんでしょう。
- 先ほどのセンター閉鎖の問題と、表に荷物が出していることを含めて、今までシェルターのベッド券を配っていた場所が無くなるんですよ。昨日は封鎖されて入れない状態だったので急きょ、西成区さんに萩の森を貸していただいて配ったんですけど、今日もまた荷物が出てきて同じ状態になったんで、今日はもっと遅い時間から急きょお願いして借りたんですよ。これが先ほどの大阪府さんの話だと、一月、荷物を置くという事になると、その間使えなくなって、どこで券を配るかなあという事になって、西成区さんは萩の森をその時間帯は使ってもいいよということ言ってくれてるんですけども、その事をみなさん頭に置いてください。本当にそれで良いのかどうかも含めて。
- 他に行く所がないもんね。
- 第2住宅とセンターの間のあそこは道路なんでね、どうなのかなあと。あそこでも良いというなら良いんですけど。あんまり、行政が道路を使うというのはねえ。歩道とかじゃなくて、ま

るまる道路なんでね、そこを使うのはどうなのかなという判断ですかね。

- ぜひ使って良いとは思いますが、気になるのは住宅の方が。
- 一応了解いただいているのでそちらは良いんですが、今のテントだと2、300人並びますんで、雨が降った時にどうしても厳しいのではないかと思います。シェルターまでわずかな距離ですが、雨に濡れてしまいますので、それは今まででもさほど変わらないかもしれないんですが、待っていただく間が、雨に濡れちゃうのでテントの増設で乗り切れるか、これは全然詰めてないですけど、シェルターの居場所に雨の日だけは暫定的に入ってもらおうようにするとか、対策をご相談させてもらおうかと思っています。西側は荷物の撤去は無理ですよええ。
- 先ほども言いましたように、どれだけ減っていくかというのを見ていかないといけないので、昨日もシャッターを閉めた時に居られる方は、そのまま手伝いながらやらせてもらいました。たまたまその時に居られなかった方も取りに来はるとは思うんです。昨日の今日なので。
ただ、一番厄介なのが占拠していた反対派の方々の荷物が今後どうなっていくかというのは、動向を見ないと何とも言えないので、先ほど言いましたように一カ月という期限を切っていますけれども、様子を見ないと動かしていただけるかどうかは分からない。
- 業者さんとちょっと、いざこざもあり得ますねえ。
- センターも一番気にしていると思います。
- と言う事なので、とりあえず、緊急対応として萩の森でシェルターのベッド券に並んでいただく。あれは5時からですが、萩の森は夕方5時までというところをお願いして、伸ばしていただいたり、管理しておられる合同会社さんにもお願いしないといけません。
- わかりました。次のワーキングでもそれを出していただいたらいいと思います。お互いそれぞれが合意貰っているのなら。
- 質問したいんですが、センターのシャッターを閉めて横に置いている荷物の状況なんですが、どれくらいの量があるのか、南北の端から端くらいまでであるのか、固めて詰めて置くことができるのかとか、南海線沿いではなく、邪魔にならない所に置けないものなのかどうかとか。気になるのはシェルターの券に並ぶ人が使っていた所なので、そこにしか荷物が置けないものかとか気になるんですが。
- 今日移動させた状況ですと、最後に大型のテントなどを出させていただきましたので、北側から出したんですが、最後に北の方に大型の物を置いていますので、反対派の方々が使用していたテント系は北側で、細かい荷物系は南側になっていますので、見てみないと分かりませんが北側の荷物がどうなっていくのかというのがネックなのかなと思います。
長さ的には、結構行っていると思います。前回の閉鎖の時にも自転車も全部出させてもらいましたので。
→ センターの敷地いっぱいには相当な量です。
- 雨降ったらやばいよね。雨除けも何もないので、反対派の人のテントと言ってもテントの外にはみ出している物も相当ありますよね。本箱やソファが使えなくなると思うんですよ。
- 今あそこで寝ている方々はどうされるんですか。
- 寝ておらてるというか、元々居られた方ですか。
- センターの周りの。その方々は元々の居場所にはいますけど。

- 今日のところ見てたら、シャッター前で寝ている人がその荷物で囲われて出てこれなくなっていた。
- 今までシャッターが開くと、どかなあかんかったんで、どいてくれてたんですが、あかないのでそのままです。
- 定着しちゃう可能性がある。
- 新萩の森に関しては少し出来ることから今の使い方も含め、暫定的な使い方を使いながら考えていくという事が重要だろうと思います。
- ここで報告させてもらいますけれど、新萩の森を、シェルターの並び場として使う間はフェンスにシートを張ろうと思うんですよ。あまりに、シェルターに泊まる人間がオリの中に並んでいるという構図が、ちょっと問題があるように思っています。
- オリの中ってそんな。そういう見方されてる人が居るってことですか。
- やっぱね、その時間帯にあの中に居る人はシェルターにいる人ってはっきりわかるわけじゃないですか。前みたいにならんと並んでたらまだしも、ぎゅうぎゅうな感じで詰められてるといのは、いかにもちょっと人権上にも問題があるんじゃないかと思って、シート張って、道路側から見えないようにします。
- それは上げたり下げたりできるものですか。
- あげることも出来るし、はずせというなら毎日はずして付ける。今はそのまま張ってますけど。
- その方が居心地がいいかも。シェルター業者だけでなく、広場を普通に利用する人達にとってもその方が良いのかもしれない。
- 萩の森のフェンス前面に張っているという事ですか。
- そうです。住宅の所からトイレ辺りまでです。
- 一つが、メッシュフェンスではなく、角のところが見通しができるだけいい方がありがたいのと、メッシュフェンスでの設計をされていると思うんで、風とかを受けるとフェンスが気になりますので。
- 風については考えます。
- それぞれ確認しながらやって行けると思います。
- 安全面のところとか協議をまたさせていただきたいと思います。
- 引き続き、新萩の森予定地の暫定利用のワーキングでお願いいたします。
- 次第の方のその他にいきます。三角公園ととも今宮シェルター跡地の利用について、お願いいたします。
- 三角公園と、もと今宮シェルター跡地について、今宮連合町会の方々、そのシェルターの土地をどう使っていくのかという議論が実は一年前に区役所、福祉局、公園であって、連合町会としては三角公園を使いたいということで、三角公園で炊き出しをしている団体の炊き出しの小屋があるという事でなかなか使いにくいので、シェルター跡地を三角公園で炊き出しをしている団体の方々に使っていただくという事で、三角公園を今宮連合町会として使いやすい形にならないかという話の発端があったんですが、デッドロック状態でにっちもさっちもいかないという事で、有識者が当事者同士の話し合いを実現させようという事で、昨年末に、三角公園で炊き

出しをしている団体の、ずっと世話役をされていた方と年末に炊き出しの場で話をし、今宮町会の代表の方と会ってもいいと、今宮町会の代表の方もぜひ三角公園で炊き出しをしている団体の人と話をしたいと、ずっと前から役所には頼んでいるけど一向に実現しないという事で、有識者が間に立って、3月13日に今宮町会の代表の方と三角公園で炊き出しをしている団体の世話役をされている方と有識者の4人でお会いしました。

その時に、今までの経緯とそれぞれの思いを話されて、今宮町会としては、三角公園から早急に三角公園で炊き出しをしている団体の小屋がけをどうこうして欲しいという事は求めない。それよりもシェルター跡地というものがこれからの、災害の緊急避難場所として地域の資源として大事に使っていききたい。その時に炊き出しも地域でやらなくてはいけない。その時に三角公園で炊き出しをしている団体の皆さんにも協力いただきたい。三角公園で炊き出しをしている団体の世話人の方も、三角公園は別に三角公園で炊き出しをしている団体だけのものではない。皆さんに使っていただくのが一番望ましいことだという共通認識ができて、その後3月27日に今宮の方だけで宮町会の代表の方と有識者でお会いした時に、今まで炊き出しをやってきた人たちにいきなりどけなんて言う事はない。ゆくゆくは三角公園を地元で使えるようにはしたいと思うけれども、すぐどけとは無理だろう。それよりはシェルター跡地を地域で使っていきたい。その時に手伝ってもらったりという事を求めたい。一方で三角公園も使いたいという事で、炊き出しをやっている時なんかでも、すぐ出来ることないかっていう事で、今宮町会の代表の方は舞台を使ってカラオケ大会を炊き出しに来る人たちと歌ってもらおうというような事やってもいい。とにかく何か一緒にやる事で三角公園と一緒に使っていくという事をやりたいという意向が出されました。

今度、4月3日に三角公園で炊き出しをしている団体のもう一方、世話役を長くしてらっしゃる方と有識者3人でお会いしたときも、基本的には同じで、三角公園は誰でも使って良いんだと、一緒に何かやるっていうのも大賛成だと、地元で町会の方が炊き出しやるんなら自分らも責任もって指導に行くという事もおっしゃられて、4月17日に地元の今宮町会の代表の方と三角公園で炊き出しをしている団体の代表世話人のお二方と、もう少し話を詰めていこうというところまで行ったんですが、お一人がお体を壊されたという事と、三角公園で炊き出しをしている団体の方で町会側と話し合いをする事は時期早々なんじゃないかという話があったという事があって、延期になって、勝ち取る会の方ももう少し時間が欲しいと、会での合意がもう少し必要だという事です。

- 今週も火曜日に炊き出しがあったので、話をさせてもらって、どこかで有識者を交えて、もう一度4人で話をしてもらえませんかというお願いをしたところ、それはそれで良いよと、あの二人の方はすごく協力してくれてるんですが、ただ三角公園で炊き出しをしている団体というのは組織ではなく、ボランティアの人が集まってやっているので、場合によったら別の方お二人くらいに入っていてお話しできたらなあと思っていますが、そこはまだお時間を頂戴したいと思います。
- 組織だったグループではないので、主だった人、一人ひとりに我々が直接行って話を聞いて、いい関係を作ってというふうにはせざるを得ないと思います。

いま、お二人の方は、最初から対立があったわけでもなく、3番目になる人は聞いている範囲

では、有識者というよりは行政に対して少し不信感を持っている方らしいので、ただ町会との関係が一番メインになりますから、町会と話できるような環境を作っていくという事が、次の目標です。それを踏まえて、今宮町会さんとそれぞれ二人ないし三人出ただいて、シェルター跡地と三角公園の利用について夢のある話を実現できる方向にできれば良いかなと思います。

本当は今日、町会さんの人達に来ていただければ、いろいろご意見有ったと思うんですが、残念です。よろしいですか。

新萩の森に関しては、町会というか自治会さんと一時期ぎくしゃくしていましたが、そちらもうまくいき始めているし、シェルター跡地の方も、センターのこういう緊張感のある中で、我々にとっては非常にありがたい話だと思います。

あとは、次第の方には書いてないですが、四角公園の議論がありますが、これについては、センターを閉鎖したことに伴って四角公園の方に流れて来ないか。炊き出しをしておられますけれども、今はセンターの方でやっていますが、また戻ってくるかもしれないという、流動的な要因があって、なかなか四角公園の議論ができないという事があったと思います。とはいっても、四角公園の施設が老朽化しているという話と、もう一つは子ども達が利用したいという思いをずっと持っているので、来月くらいからその話もしていきたいと思います。それをするにあたって、何か思いがあれば。

- 今日四角公園では子ども達と遊びましたけど、今日は僕たちが遊ぶ時間があったので、気兼ねすることなく遊べましたけど、固いボールで遊びたがってるんで、そういう面では危ないです。仏現寺公園は遠いので、近くで利用できるくらいにしてもらえたら嬉しいと思いますけど。
- この進め方について、もっといろいろ議論を深めていくという事でよろしいでしょうか。
- 何回前になりますかねえ、一度、どういう形が良いのかという事を二つのグループに分かれて案を作ってみました。柵とか全部なくしておじさんと子ども達が共存できる形という案と、もう一つはちゃんと柵を付けて子ども達も邪魔されないでというキッチリ分けてやった方が良いのではないかと二つの案に分かれたんですが、実際それについて子どもの観点から見た時に、フェンスについては議論をもう一度した方が良いという話になっていたので、労働者あるいは地域の人達との共存という事も、これは新萩の森でもどこでもそうですけれども、考えながらそこら辺の議論を、子どもの遊びの観点からするとどうなのかという事を詰めて話す場を設けたい。ただそれをこの公園検討部会の中でやるのか、それともワーキングという場でこじんまりとやるのか、どちらがやり易いのかなということ。
- ここの委員に限定しないで、直接、四角公園を利用したいという人達に新たに入ってもらおうということですね。
- そうですね。だからいずれにしても公園検討部会が合意を図る場所ではあるので、もしかしたらそういうワーキンググループでもう少し新萩の森の進め方のように、関心がある方あるいは、地域の方、子ども関係の方に入っただいて議論する場を設けるかもしれないという事ぐらいですかね。今日はね。
- 事務局の方が十分詰めた議論をしていないので。
- 結論は今日出さなくても良いですかね。提起だけさせていただきます。
- はい。どうもありがとうございました。予定していた議題は以上なんですけど、皆さん方の方か

ら、何かありましたら。

- 折角これしてるのに、肝心の人達がみんな来ていない。地域の人達が来ていないというのはどうかと思うんですけど。来れないんですよ、急に決まるから。あまりにも急に決まるから、みんな予定が入っててね。もう少し地域の方に参加してもらえるようにしたい。
- 2カ月前であれば良いという事ですかね。
- やっぱり一番多く集まる時にすることしないと、もったいないです。今宮町会の方とか居たらね、良かったと思うんでうけれども。
- 会議の開催について、3月4月はいろいろ急がないといけない話とか、同時に、慎重に取り扱わないといけない事もあって、会議をいつやるかという事について、なかなか決断し辛かったという事もあります。とはいっても、やはり多くの委員の皆さんが出席していただくのが、一番大事なことですので、今後はちゃんと配慮しながら会議の開催を進めて行きたいと思います。
- 今宮シェルター跡地の話が出ましたけれども、今後この話はこの会議の中で話すんですか。
- 今宮シェルター跡地の話、ワーキング作ってやるかどうかという事ですか。
- 我々も地域の方から、あの話はどうなったんやという事から出てきたと思うんですが、今、当事者の方と話しているところですが、地域の会議のどこの会議でね、公共の場所なので、あそこをどう使うかというのはどこかで話をしなあかん。なんか知った者同士で話が決まっちゃったというのでは、非常によろしくない。そうであれば、どこの会でこの話をするのか。
- ちょっと厄介なのは、三角公園で炊き出しをしている団体の皆さんに、この公園検討会議に委員を出してくださいというお願いをしましたが、ちゃんとした組織として存在しているわけではなく、行政のやっている会議に俺たちはいかないぞと考えている人が多いところがあるので、なかなか一緒に議論しましょうという事にはならないという、結構厄介な問題があります。
- それは個人的に良く知っているつもりなんですけど、ずっと気になるのが、事の発端が三角公園の炊き出しをしている団体のテントと当該町会と話があつてね、今話を進めるというのも分かるんやけれども、地域の中で炊き出しをね、本当にみんなで、地域の中で炊き出しって必要なんやで、それにはどこですの、誰が支えるのっていう事につなげていかないと、三角公園で炊き出しをしている団体のための炊き出しの場所を作りますというのはおかしい。本当に地域の認知とか理解があつて公共の配食とか大人食堂とか、言い方は色々ですが、地域に必要でそれを公共の場所に用意するんやという理解の得方をして、そこで本当にできる人達が作業するという事ならわかる。その事とイコール公園で炊き出ししたらあかんよという事になったら、これはただの排除なんですよ。公園という適正化があつたうえで、どういうふうにきれいにどいてもらうかっていう順番に見えてしまう。これはこの間の地域の話し合いの中でそうではないと思っているので、本当に必要なことを地域でどう理解をして、そのためにどうするかという順番が先だと思うので、排除がちらつくような形になってはいけないので、どこでどういう話し合いを、今は準備段階、諸事情があるからっていうのは私も分かるつもりなんですけど、いずれはみんな向き合って話さなあかん事なので、その辺どうなのかなっていうのが一つと、もう一つは新萩の森も絡んでくるんやけど、センターが閉まった段階で、雨の日に炊き出しする場所が完全になくなったんですよ。本来は4月1日にそういう状況になるはずだったんですけど、

ただら来たからみんな緊迫感がなかった。今日明日から雨が降った場合にどっかですぶぬれになりながら炊き出しに並ぶのか。新萩の森で十分かっていうとそうではないという事も明らかで、それじゃあどうするのかという事も含めて考えていかないといけない。そういう意味では新萩の森の話もありましたけれど、将来的にこういう場所であってほしいという話と、緊急的に今必要な場所と両方求められているので、非常に辛いと思う。わたしはやっぱセンターのシャッターが今日閉められた段階で屋根のあるという事も含めて場所が無くなってしまった。2週間くらいずれたけれども緊急事態が始まったわけで、その代わりはどうするのかという事で、余計、新萩の森の使い方、ちゃんと考えないとあかんと思います。だから全然解決できてないと思います。シャッターを閉めて居場所はどこにあるのか、代替え地がないまま、今に至ってしまっている。シェルターも時間帯が変わっていったとか、待合とか、一定の努力はあって、そこに行く人も確かなんですが、それではやり切れてない部分があるから、その辺をどうしていくかという事があるわけで、話が逸れましたけど、そんな事も含めて今宮シェルター跡地の場所というのがどういう位置づけでどんな使い方するかというのは、地域にとって大きなことかなあと、勝ち取る会がテントここに置きますよという話ではないと思っています。そのことと公園の利用の仕方とは別で考えないといけない。

- その理解は有識者も同じですし、我々から今宮町会さんや三角公園で炊き出しをしている団体にもそういうふうに考えていると伝えていて、一定理解は得ていただいているというところはあります。ただ、三角公園で炊き出しをしている団体の方は少し違って、今宮シェルター跡地でも炊き出しはできるし三角公園でもずっとできるというような理解をする人も少しいという、ここが少し厄介ですね。我々は、シェルター跡地は、まず、町会の人達の防災という事を軸にして炊き出しやみんなの食堂的な物を作っていきのが単に今宮町会さんだけでなく広く開かれたものとして位置付ける、そこに三角公園で炊き出しをしている団体に対しても必要だということを利用してもらう。新しい炊き出しをやってくれる人達が出てきてほしい。そういう意味では若い人に入ってきてほしいということ同時に、町会さんがやってくれるんならお願いしたいぐらいのところも実はあるんですよ。そういう意味では、炊き出しを大事にしながらでも、広く多くの人達でやれるような方向に行くのが望ましいのと、実際、現実的な話として、シェルター跡地を区役所さんの方で地面だけきれいに整備する話を去年入札でうまくいかなかったんですが、今年本当にやるというスケジュールで行くと12月には全部い終わるんですけど。
- 11月末頃に工事が終わるスケジュールで考えています。
- その上をどうゆう事に使うのかという事と、それに必要な上物をどういうふうに設置するのかという、そこにはお金も絡んできますが、それについては今後の課題となっています。その話は、流れとして町会さんと三角公園で炊き出しをしている団体との関係を上手に作る事が前提だという事で今やっているわけです。そこが一定うまくいくようになったら行政の人達も入るような場面が出来て、その上でワーキングのような形でこのメンバーも何人か入ってもらって議論していく。それをまた部会に返してもらうという形で持つて行くのが良いのではないかと個人的には思っています。

たくさん意見いただきました。どうもありがとうございました。そしてまた新萩の森の利用について、引き続き議論進めて行きたいと思います。ただ、センターの西側のところに占拠された

人たち中心にいろんな物が置かれてて、人が居てその問題が、この部会である公園の所に波及してくる可能性もあるので、それを注視しながら今後も皆さんと一緒に議論を進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

- 会議進行にご協力いただきましてありがとうございました。今回いただきました貴重なご意見をですね、踏まえて議論を進めてまいりたいと思ひます。本日はお忙しい中、第9回公園検討会議にご出席いただきましてありがとうございました。